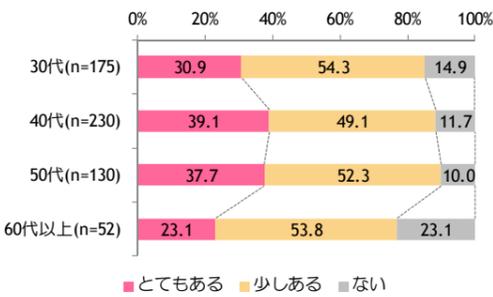


01 Woman's Trend

加齢による身体変化の不安は8割以上の女性が持っているのに・・・ 加齢対策のための商品やサービスの利用は6割以下

Q. 加齢による身体変化で不安に思っていることは？

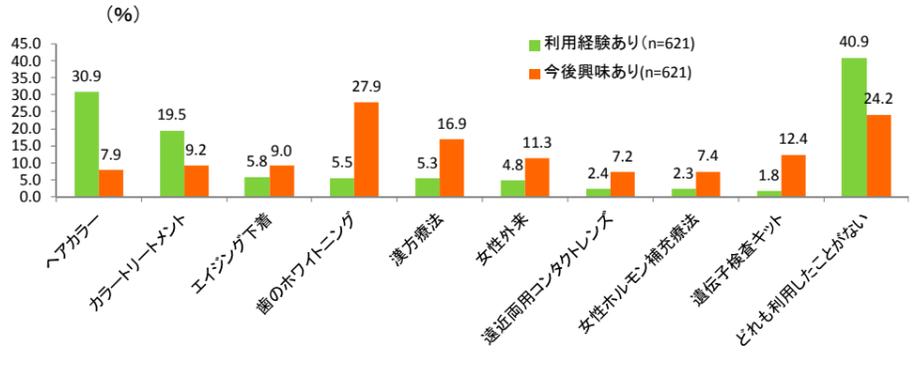
【不安なことベスト5】



順位	30代(n=144)	票	順位	50代(n=115)	票
1位	顔や髪など美容上の変化	77(53.5%)	1位	記憶など脳の機能低下	58(50.4%)
2位	体力や運動能力の低下	74(51.4%)	2位	体力や運動能力の低下	57(49.6%)
3位	生理不順や婦人科系の病気に影響すること	63(43.8%)	3位	目や歯の変化	52(45.2%)
4位	うつなど更年期の精神的な影響	58(40.3%)	4位	内臓脂肪やコレステロールなど生活習慣病の発症リスク	47(40.9%)
5位	目や歯の変化	51(35.4%)	5位	顔や髪など美容上の変化	45(39.1%)

順位	40代(n=196)	票	順位	60代以上(n=39)	票
1位	顔や髪など美容上の変化	97(49.5%)	1位	体力や運動能力の低下	26(66.7%)
2位	目や歯の変化	89(45.4%)	2位	記憶など脳の機能低下	24(61.5%)
3位	うつなど更年期の精神的な影響	86(43.9%)	3位	目や歯の変化	22(56.4%)
4位	体力や運動能力の低下	84(42.9%)	4位	内臓脂肪やコレステロールなど生活習慣病の発症リスク	16(41.0%)
5位	生理不順や婦人科系の病気に影響すること	76(38.8%)	5位	癌の発症リスク	13(33.3%)

Q. 加齢対策のために利用している商品、サービスは？
※サプリ等は別途設問



2015.02.12~02.15
女性を対象にWEB調査 (n=621)

日本の平均年齢は2015年で46.0歳。特に団塊ジュニア世代がこれから更年期を迎える時期に入り、女性の包括的健康支援について注目も集まり、女性の健康・医療は時代が要請するテーマと言える。

まずは加齢による身体変化をどうとらえているか、全国の女性に調査した。

身体変化への不安は30代から8割方の女性が持ち始め、更年期真っ中の50代でピークとなる。不安の内容は上の表のとおり、40代までは美容上の変化がトップだが、50代になると脳の機能や体力の低下、さらに生活習慣病や癌といった病気の不安に変わる。

こうした不安要素に対して、実際に何か対策をしている人は実に少ない。36項目に及ぶ症状の中で対策している人が多い項目でも、20%前後。「特に対策していない」とする人が半数近くで50代でも4割近い。

対策している人が多かったのは、30代以下

は肩こりと冷え、40代で白髪と生理不順、50代以上は白髪とコレステロール値の上昇だった。さらに、今は気にしていないけれど、これから対策を考えようと思っている項目は、体重の増加、皮膚の乾燥、疲れやすい、体力の衰えといったところ。

特に加齢対策で話題になる商品等を17種挙げて、利用経験と今後の興味を確認したら、まだまだ利用も興味も薄い状況が明らかになった。右上のグラフはその中から興味7%を超えたものを9種挙げた。白髪染めは当然で、今後は歯に興味あり。さらに遺伝子検査で不安要素を確認して漢方等の穏やかな対処療法を検討したいといったところか。

更年期は病気ではないと、何となく我慢して過ごしてしまう女性が多いが、更年期後に起こる病気の可能性についてまだまだ認知が薄く、その分市場も大きい。情報提供の役割も大きいと言える。(所長/植田奈保子)

くらしHOWネット会議室「更年期の不安や悩みと対策」から 自分だけ異常？いつまで続く？と不安に

あつこさん

51歳、夫と子供が3人います。そろそろ閉経かと思えます。イライラしたり気分が落ち込む、思考回路がマイナスに向くと更年期かな？と。

エマさん

55歳、夫と娘1人、専業主婦です。更年期の最中でイライラや憂鬱感の波がありながら継続中。外出も控えます。

ゆまりりんさん

55歳、夫、息子の3人家族、専業主婦です。更年期を抜けつつあるところ。イライラすることも多く、以前より疲れやすくなってきたように感じます。女性なら誰にも来るものとは思っていますが、自分だけ異常なのかとか、いつまで続くのかとか、とても不安に感じますよね。

ジャスミンさん

45歳、夫と子供2人の4人家族。最近、更年期もどきの症状が出てきています。自分で対処できない苦痛があるのかなと、不安に感じています。

エマさん

私は症状が長く続いたので思い切って専門医の診断を受けました。プラセンタの点滴やメタラルなアドバイスを受けて気持ちが楽になりましたし、何より家族に診断結果を説明できて、理解してもらえたのが一番の収穫。

あつこさん

更年期の症状の中で一番恐れているのが、ある日突然来るらしい「めまい」や「メニエール」。婦人科を受診し、さらに耳鼻科を受診するのか、複数受診すると薬の飲み合わせなどが心配です。

ゆまりりんさん

大量出血があると何か異常が？と不安になりますが、同じ症状の人がたくさん居ると分かると安心できます。私は市販の漢方薬や大豆イソフラボンのサプリを飲んだりしました。ホルモン補充療法はちょっと不安だと思っているうちに大量の出血が終わった感じでした。

ジャスミンさん

漢方薬の効能、症状と改善例や具体的な期間などの例が載っている情報が欲しい。あと家族に理解してもらうための冊子があると有難いですね。

2015.02.16実施 くらしHOWネット会議室「更年期の不安や悩みと対策」発言録より抜粋。全発言録はくらしHOWサイトで公開中

02 Woman's Data

【OLのキモチ】

OLの4人に1人がゴールドカードを所持

首都圏OLの約3割が自分名義のクレジットカードを「5枚以上」持っており、7割超が「週1回以上」利用していると答えた。1カ月間のおおよその利用金額は4割超が「5万円以上」で、ネットショッピングの利用頻度や海外旅行の回数が多い人ほど利用金額が高い傾向にある。ゴールドカードを持っているOLは4人に1人だった。

【ゴールドカードやプラチナカードについて当てはまるものを選んでください】 (%)

ゴールドカードやプラチナカードを持ちたいと思う	21.9
ゴールドカードやプラチナカードを持ちたいとは思わない	52.7
現在、ゴールドカードを持っている	24.0
現在、プラチナカードを持っている	0.8
現在、ゴールドカードもプラチナカードも持っている	0.6

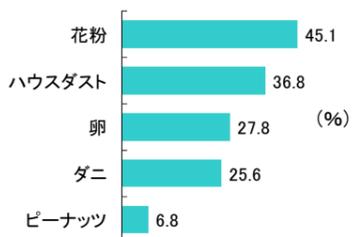
2014.12.16~12.22 シティリビング調べ
首都圏で働くOLを対象にWEBアンケート (n=662)

【子育てママのキモチ】

園児1/4にアレルギー、原因トップは花粉

アレルギーがある幼稚園児と保育園児は、全体の約1/4。アレルゲンの1位は「花粉」(45.1%)、2位は「ハウスダスト」(36.8%)だった。以下3位「卵」(27.8%)、4位「ダニ」(25.6%)、5位ピーナッツ(6.8%)と続く。最近子ども用の花粉対策眼鏡も登場。ハウスダストやダニ対策の掃除機も売れ行きが好調のようだ。

【園児のアレルギーの原因は？】 ※上位抜粋



2014.06.06~06.26 あんふあん調べ
幼稚園&保育園ママを対象に誌面、Webアンケート (n=500)

03 Group Eyes

あんふあんの新テーマは伝えたい和食、 家族の輪食「うちのわごはん」

園児とママの情報誌「あんふあん」では2015年度のテーマを「うちのわごはん」に決定。編集長の三山百合子にその狙いを聞いた。

『子ども、パパ・ママ、祖父母…楽しいコミュニケーションの真ん中にあるのは、いつも“食”です。中でも、2013年ユネスコ無形文化遺産に登録された“和食”は、一汁三菜を基本とする栄養バランスのとれた健康的な食文化であり、年中行事とも関わり、また生活習慣病予防にもなります。あんふあんの調査でも「栄養バランスがと

れる」「野菜が多く取れる」といった理由で「和食をもっと食べさせたい」と思う母親が97.2%もいました。そこで、日本の伝統の「和食」、そして家族の絆をつなぐ「輪食」の両方の意味を併せ持つ「わごはん」に、幼児時代のうちにもっと親しんでほしい、と考えました。

2015年度「あんふあん」「あんふあんぶらす」では、子どもの毎日の食卓をもっと豊かにすることを目指し、様々な展開を行っていく。

(サンケイリビング新聞社CC室)

『うちのわごはん』の展開予定

- ・食の連載コラム【あんふあん】今夜のわごはん【あんふあんぶらす】ラクチンわごはん
- ・巻頭特集【あんふあん】11月号「お料理好きな子に育てる」【あんふあんぶらす】年末年始号「子どもと作るお節料理」「わごはん お料理コンテスト」
- ・イベント あんふあんWebのフォト広場で、写真投稿コンテストを年4回実施
- ・中面企画 年間を通じて「和ごはん」「輪ごはん」をテーマにした「わごはん」に関する編集ページ企画を実施

